

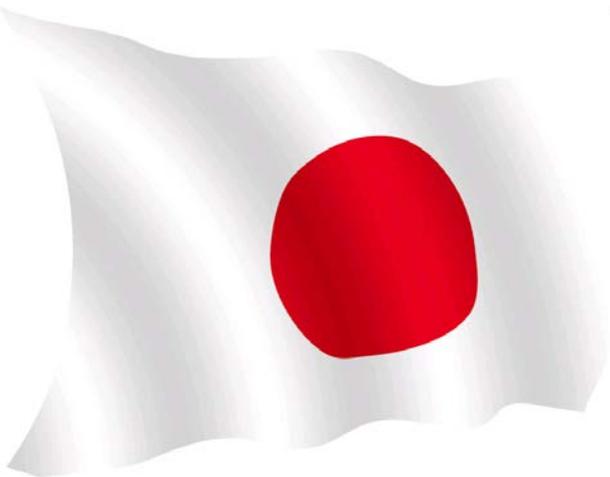
平成25年度 静岡大学 職員海外派遣研修報告書

日程：平成25年 10月6日～12日

派遣先：インドネシア教育大学

インドネシア大学

国際交流基金ジャカルタ日本文化センター



目次

・はじめに	2
・事前打合せ等	3
・海外研修日程	4
・インドネシア概要（基本情報）	6
・インドネシア概要（教育）	7
・インドネシア現地の様子	8
・インドネシア教育大学概要	10
・インドネシア大学概要	11
・入試関係	12
・教務の比較	15
・学生支援の比較	16
・財務関係	18
・国際交流基金ジャカルタ日本文化センター	20
・研修所感	23

はじめに

○研修制度の目的

本学における国際交流の推進、国際社会への貢献等、国際化する社会に対応できる優秀な人材を育成するため、本学の職員を海外の大学に派遣し、諸外国における大学の教育・研究の支援体制、事務組織等について研修させることを目的とする。

○研修先の選定

大学間協定を結んだ大学の中から、研修予定者3名がそれぞれ派遣候補大学を3つ選択した結果、候補大学は分かれたが所在地が一番重複していたのがインドネシアだったため、インドネシア内の協定を結んでいる2大学及び国際交流センターからの勧めもあり、国際交流基金ジャカルタ日本文化センターを研修先として選出した。

〔国立〕インドネシア教育大学 2010年 3月 1日締結（教職員及び学生の交流）

〔国立〕インドネシア大学 2010年 5月 7日締結（教職員及び学生の交流）

○研修者

入試課入試企画係
人文社会科学部学務係
財務課出納係

谷内 俊宏
黒田 規央
勝山 祐子

事前打合せ等

月 日	事 項	内 容	備 考
6月27日	海外研修派遣者決定		職員課
7月 3日	平成25年度職員海外研修概要提出	研修者が作成して国際交流課へ提出	
8月23日	研修先及び日程決定		国際交流課
8月27日	打合せ	研修者のみで初顔合わせ 研修日程の調整及び今後のスケジュールを確認 (これ以降はメールにて詳細な打合せをする)	
8月29日	航空機予約完了	国際交流課が手配	
9月 4日	先方への質問集(日本語版)完成	研修者が作成して国際交流課へ提出	
9月25日	先方への質問集(英語版)完成	研修者が作成して国際交流課へ提出(9月19日) 国際交流課が英文を確認・修正	
9月30日	大学への訪問日確定	インドネシア教育大学(10月 8日) インドネシア大学(10月9日・10日)	メール
10月 1日	出国前の挨拶	学長・局長	
10月 2日	ホテル予約完了	業者にて	
10月 3日	出発前最終打合せ	国際交流課・職員課・業者・研修者 研修日程, 移動及び通訳について	
10月 4日	日程表(日本語版)完成	研修者が作成して職員課・国際交流課へ提出	
10月 6日～ 12日	研修中	インドネシア教育大学・インドネシア大学・国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター	
10月16日	帰国の報告	学長・局長	
11月12日	報告書作成打合せ	研修者	
12月10日	報告書の作成・発表打合せ	研修者	
12月18日	報告書の作成・発表打合せ(最終)	研修者	
12月24日	拡大事務協議会報告	研修の報告	

海外研修日程 ①

10/6(日)	8:30 10:30 以下、現地時間 (時差-2時間) 18:05 19:00	着 中部国際空港 発 中部国際空港 着 ジャカルタスカルノハッタ空港 (タクシーにてホテルへ) 宿泊	集合 SQ0671便→シンガポールチャンギ航空 (16:20着)→ →SQ0962便(17:20発) SARI PAN PACIFIC(サリパンパン フィックジャカルタホテル)
10/7(月)	7:10 7:30 10:00 13:00 14:00	集合 ホテルロビー 発 ジャカルタ 着 バンドン インドネシア教育大学 発 着 ホテルチェックイン ディナー設定あり 宿泊	ロビーにて研修打合せ レンタカーにて スタッフと昼食 平木夫妻・通訳とコンタクト SAVOY HOMANN BIDADKRA HOTEL(サボイホームマンビダカラホテル)
10/8(火)	8:40 9:00 9:30 16:00 16:30	集合 ホテルロビー 発 宿泊所 着 インドネシア教育大学 学内研修・見学 発 着 宿泊	ロビーにて研修打合せ レンタカーにて 国際交流オフィスを訪ねる スタッフと昼食 SAVOY HOMANN BIDADKRA HOTEL
10/9(水)	9:10 9:30 12:30 17:30 19:00	集合 ホテルロビー 発 バンドン 着 ジャカルタ インドネシア大学 学内研修・見学 発 着 宿泊	ロビーにて研修打合せ レンタカーにて 14時 国際オフィスを訪ねる SARI PAN PACIFIC

海外研修日程 ②

10/10(木)	8:40 9:00 9:30 11:00 11:30 16:00 16:30	集合 ホテルロビー 発 宿泊所 着 インドネシア大学 学内見学 発 着 ラグナン動物園 発 着 宿泊	ロビーにて研修打合せ レンタカーにて Ragunan Zoological Park SARI PAN PACIFIC
10/11(金)	8:30 9:00 9:20 10:30 11:30 16:00 17:00 20:25	集合 ホテルロビー チェックアウト 発 宿泊所 着 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター見学 発 着 タマン・ミニ・インドネシア・インダー 発 着 ジャカルタスカルノハッタ空港 発 機内泊	ロビーにて研修打合せ レンタカーにて Taman Mini Indonesia Indah SQ0967便→シンガポールチャンギ航空 (23:00着)→SQ0672便(01:05発)
10/12(土)	8:50 (日本時間)	着 中部国際空港 解散	

インドネシア概要（基本情報）

インドネシア（正式名称：インドネシア共和国 インドネシア語名称：Republik Indonesia）

東南アジア南部に位置する共和制国家。
首都はジャワ島に位置するジャカルタ。

5,110kmと東西に非常に長く、また世界最多の島数を抱える国である（13,000超）。人口は2億3000万人を超える世界第4位の規模であるが、その大多数はイスラム教徒であり、世界最大のイスラム人口国としても知られている。

インドネシア国章

「ガルダ・パンチャシラ」（Garuda Pancasila）（右図）
胸に盾を抱え、足で巻物を持った金色の神鳥ガルダである。
掴んでいる帯には古いジャワ語で「多様性の中の統一」という意味が書いてある。
盾（シールド）にある5つのエンブレムは、インドネシアの建国5原則であるパンチャシラ（唯一神※・人道主義・インドネシア統一・民主主義・社会的公正）を表す。

※唯一神：インドネシアでは無神論は違法。
2012年facebookで「神はいない」と書き込んだ男性が
群集に襲撃され、宗教冒涜の罪で逮捕された。



インドネシア国旗
縦横の比は2：3
※4：5にするとモナコ国旗になる

インドネシア概要（教育）

インドネシアの教育

インドネシアの教育体系は、教育文化省が管轄する一般の学校（スコラ sekolah）と、宗教省が管轄するイスラーム系のマドラサ（madrasah）の二本立てとなっている。いずれの場合も小学校・中学校・高校の6・3・3制であり、このうち小中学校の9年間については、1994年、義務教育にすると宣言された。スコラでもマドラサでも、一般科目と宗教科目を履修するが、力点の置き方は異なる

高等教育機関の約3,500校あるうちの96%が私立。

1998年より大学評価システムが強化され、それまで私立大学のみが対象だったものを国立含む全ての高等教育機関が5年に一度評価を受けることとなった。これにより、大学間の競争が生まれている。

教育現場での言語

多民族の統一国家であるインドネシアでは、500を超える各地方語がもともと存在していたため、インドネシア人にとってのインドネシア語は、ある意味で外国語とも言える。この結果、バイリンガルやマルチリンガル等は、日常的な傾向であると言える。

教育の基本

インドネシアの基本教育で、最も重要な授業学科として指定されているのは、建国5原則「パンチャシラ」である。全ての国民は、パンチャシラの理念に従って、宗教、道徳、礼節等に関する「情操教育」を必ず学ぶことになる。

2000年以降に国立大学の法人化が進み、インドネシア大学・ガジャマダ大学・バンドン工科大学・インドネシア教育大学等の7大学が法人化。しかし、教育の機会均等の原則に反する学生確保が見られたことなどから、2010年3月より法人化の見直しが検討されている。

海外の大学への留学が奨励されており、日本への留学生数は2,190人で全体の約3.3%（8位）。留学先としてオーストラリア・シンガポール・マレーシアが上位を占める。

国家政策

経済危機以降の2000～2006年の間に教育分野での国家支出額は倍増し、2007年には全国家支出額の16%を占めるまでに至った。現在では国家教育法で国家予算の20%を教育分野に割当ててることを義務付けている。

※対して日本（2007）の国家支出額に対する文教費は6%ほど。

就学率

小学校：約98% 中学校：約86%
高校：約56% 大学：約14%

- （ただし、高校生の大学進学率は60%超）
- ・授業料以外の自己負担となるその他の経費を支払うことができない。
 - ・子どもを労働力として考えている
 - ・教育に対する社会的プレッシャーが少ない
 - ・学校へのアクセス手段が無い

それまで明確な規定がなかった教員に要する資格について、2005年に制定された教師・大学教員法により、学部学生を教えるには修士号を取得していることが、修士課程学生を指導するには博士号を取得していることが必要となった。しかし、現状の現職職員は上記条件を満たしていないことが多いこともあり、現在教員の海外留学を促すよう国家的に奨学制度を設けている。2009年データ：国立大学教員の修士課程修了者は68%、私立大学は22%。

インドネシア現地の様子



市場の様子

2012年インドネシア人の平均月収は2万円ほどで、現地の水1.5Lが約20円ほど。物価もそれに準じた値段だが、ジャカルタ、バンドンなどの大都市では、観光客向けの値段になっていることが多い。

バンドン市内のモスク

イスラム教信者は1日5回礼拝を行うため、街中には多くのモスクがある。また、市民の情報交換場でもある。



インドネシア語で森の人
オラン（人）ウータン（森）

モスク内部にある、礼拝の時刻表
ネット配信もしている。



ジャカルタのイスティقلالモスク内部
世界最大のモスクで、12万人収容可能。



ガムラン演奏の様子

インドネシアのイメージ

バリ島など、リゾートアイランドでは見られる装飾だが、ジャカルタ等市街地ではあまり見かけない。



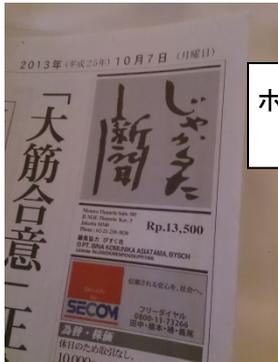
インドネシア現地の様子



イスラム教の教えもあり、
犬は少なく、野良猫が多い



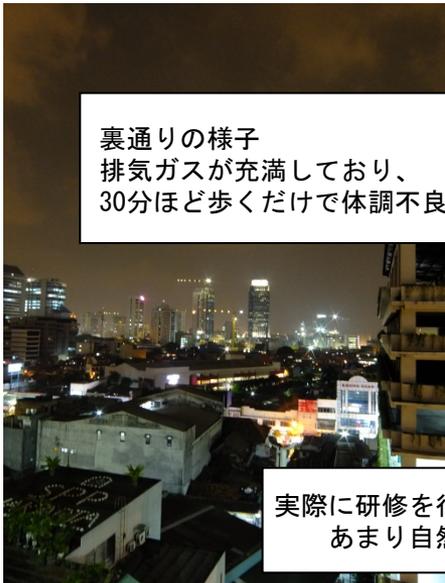
ホテルで配っていた
日本語の新聞



インドネシア気温
9月の気温は最高33度、
最低26度で降水量も多く、
蒸し暑い。
ただ、室内はエコロジーの
概念がほぼ無いのか、
エアコンがかなり強い。



裏通りの様子
排気ガスが充満しており、
30分ほど歩くだけで体調不良になった。



実際に研修を行った市街地の夜景
あまり自然は見られない



写真撮影を勧めてお金を取る
ネズミかクマのキャラクター



ジャカルタ名物交通渋滞
国際空港～市街地の交通量は、
東名高速（GW時）の5倍ほど。
閑散時に10分の道のりが、
混雑時には1時間かかる。

中型の日本車がかなり多く、見た目は
軽自動車の多い日本より高級感がある。



インフラ整備が進む都心
建設用クレーンが目立つ



インドネシア教育大学 Universitas Pendidikan Indonesia (通称：UPI)

首都ジャカルタから200km離れたバンドンにメインキャンパスを置く教員養成に特化した大学である。

1954年に教育養成機関として創立し、1999年に現在の大学形態となる。2004年に法人化している。

1965年には日本語教育学科が開講し、2001年に日本語教育専攻が設置されている。毎年、国際交流基金より日本語専門家が派遣されており、数名の日本人教員も活躍している。

【創立】1954年

【キャンパス数】6キャンパス

【学部】①教育学部②社会科学教育学部③言語芸術教育学部

④数学自然科学教育学部⑤技術・技能教育学部

⑥運動健康教育学部⑦経済学部

【学生数】37,000人

【職員数】教員数1,250人(教授80人、准教授530人、その他640人)
事務職員数800人

【施設・設備】図書館、体育館、学生寮、サッカー場、ソフトボール場、
テニスコート、プール、クリニック、モスク

2013/2014学年暦

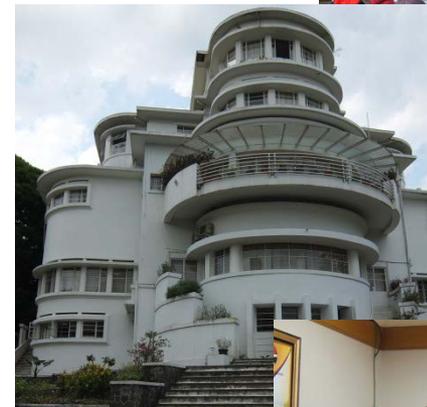
前期		後期		集中学期	
9/2	授業開始	2/3	授業開始	6/23	授業開始
10/21-25	中間試験	3/24-28	中間試験	8/22	授業終了
12/20	授業終了	5/23	授業終了	8/25-29	試験
1/3-17	期末試験	6/9-20	期末試験		
8/19-12/24	教育実習期間(PPL)	1/27-3/31	教育実習期間(PPL)		



国際交流オフィス



構内では学生の集会が開かれていた



構内にあるオレンジ領時代の建物



国際交流担当副学部長(中央)、通訳をしてくださったディアンニさん(右から2人目)、国際交流担当者(右)と副学部長室にて

首都ジャカルタから20kmの場所にあるジャワ島西部の都市デポックに本部を置く国立大学である。

オランダ領時代の1849年にインドネシア大学の前身となる医学学校が設立され、その後、様々な変遷を経て、1950年のインドネシア大学としてジャカルタに設置された。1987年にデポックキャンパスが完成し、現在のメインキャンパスとなっている。

デポックキャンパスは8つの湖を有する広大なキャンパス(320ヘクタール)となっており、その75%は木で覆われ、緑のキャンパスと呼ばれている。

インドネシアの中でもトップレベルの大学であり、2012年の大学ランキングにおいては世界273位、アジアで64位となっている。

【創立】1950年

【キャンパス数】2キャンパス(デポック・ジャカルタ)

【学部】①医学②歯学③数学・自然科学④工学⑤法学⑥経済学⑦文学⑧心理学

⑨社会学・政治学⑩公衆衛生 ⑪コンピュータ科学⑫看護学⑬薬学

【学生数】54,000人

【職員数】9,000人

【施設・設備】図書館、体育館、競技場、学生寮、映画館、クリニック、モスク、レストラン、Wi-Fi

2013/2014学年暦

前期		後期		集中学期	
7/12-8/15	授業料納入期間	1/13-27	授業料納入期間	6/3-12	授業料納入期間
9/2	授業開始	2/10	授業開始	6/16	授業開始
12/27	授業終了	6/13	授業終了	8/15	授業終了



図書館



オフィシャルグッズストア



国際交流オフィスにて



国際交流オフィスにて
打ち合わせ



デポックキャンパス (右) 本部棟

入試関係

入試の種類	内 容	入学者の 入試別割合	倍率	検定料
高校成績によるもの	高校から多数の成績リストが送付され、学部単位で選別し、その中から入学させたい生徒に対し意思確認を行う。6月実施。	50%	全体の志願者が約10万人で、合格者は7千人。 (倍率:約14倍)	検定料は無料。
統一試験	地域(西部ジャワ)で実施する UPI(インドネシア教育大学)と複数の公立大学が共同で実施する試験。7月実施。	30%		検定料は無料
UPI の特別入試(2つの学科を選択し、4つの学部まで受験できる)	上記2つの入試後に実施。	20%		検定料は 300 万ルピア。 (約 26,000 円)

○検定料

上記表の推薦及び統一試験の検定料(300万ルピア)は、政府から補助金が出るため不要。

○入試担当

アカデミックの副学長(DIRECTER)が担当

○入試広報

高校への説明会は特に行わない。高校からの大学見学の要望があった場合には受ける方針。



入試関係 インドネシア大学 ①

1. 入試関係(留学生対象のものを除き、インドネシア人が対象のもの)

○選抜には試験有りと試験無しタイプがある。

- ・試験有り・・・学生vs学生
- ・試験無し・・・高校vs高校(高校の人気ランクによる)

○選抜の申込みはオンライン。(ペーパーレス)

○選抜には次の3タイプがある。

入試の種類	内 容	出願者・合格者 (比率) ※2013年入試	検定料
高校成績による推薦 [SNMPTN]	高校成績, 高校のランクによる, 一番成績の優秀な者が受験資格を持つ。	36,580 ・ 2,351 (6.4%)	検定料は今年から無料。
地域(ジャカルタ)で実施する試験 [SBMPTN]	国立大学入学共通試験: ローカルな大学入試センター試験のようなもの。 実施は7月。	30,815 ・ 1,450 (4.7%)	検定料は今年から無料。
UI(インドネシア大学)で実施する 特別選抜試験 [SIMAK]	1つの質問に正解すると4点, 不正解であれば1点減点, 回答なし0点 理科系が4科目(数学・物理・化学・生物)で各15問ずつ 文科系が4科目(歴史・経済・地理・社会学)で各15問ずつ で四択や○×式が多い。 実施は6月。	30,252 ・ 1,324 (4.4%) 難易度が一番 高い。	検定料は 300 万ルピア。 (約 26,000 円)

入試関係 インドネシア大学 ②

○入試事故の対応

作題ミスが起きてても受験者のレベルが高いため、本人たちは理解できているという前提ですすめられ、特に対応はしない。
最近の事故としては、今年の入試において、携帯電話を使用したカンニングが起きた。

○入試のスペシャリスト

広報関係をとりまとめている専門のスタッフがいる。(教員ではなく事務員)

○広報グッズ

大学の広報媒体として、ボールペンやノート、スカーフ、ネクタイ等のグッズを作成している。→

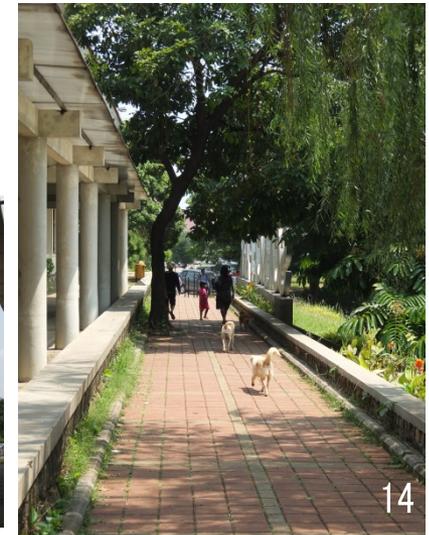


2. 入試関係(留学生対象のもの)

留学生が対象の入試は、4月に申込みをし、5月に合否の結果が出る。
インターナショナルクラス(英語の授業)と通常(インドネシア語)クラスがある。
入学試験は実施しないが、申込書に高校の成績証明、TOEFLの成績、志望動機の作文等を提出する。

○留学生のための入試広報

優秀な留学生を獲得するため、国際高校等で入試説明会を実施。また、積極的に海外にスタッフを派遣し、プロモーション活動を実施している。



インドネシア大学

卒業までの必要取得単位数

Bachelor 144

Master 40

Doctor 48

1semester は14週+中間試験+期末試験という内訳が一般的。

1st semester : 8月~1月

2nd semester : 2月~6月

summer course : 6月~8月 不可だった科目を再履修することが可能。

奨学金選考等に成績が利用されるため、

成績と家計が直結している。

教務の比較

インドネシア教育大学

卒業・修了までの必要取得単位数

Bachelor 140 146

Master 32 36

Doctor 36 38

学部における他言語の必要修得単位数は2単位

1st semester : 7月~12月

2nd semester : は1月~6月

日本における初修外国語のような

第二外国語の習得については、

Language Centerで自由参加のプログラムを受講する

※学生同様、職員も受講可能

成績評価

インドネシア (UI UPI 共通) : A (4) B (3) C (2) D (1) E (0)

※ () 内は点数評価 その他 : T (授業出席試験欠席) I (Tと同じだが単位取得見込有)

各高等教育機関は各課程によって必要GPAを定めることが可能

学士および Diploma : 優 (3.51-4.00) 良 (2.75-3.50) 可 (2.00-2.75)

修士 : 優 (3.71-4.00) 良 (3.41-3.70) 可 (2.75-3.40)

海外協定校との単位互換制度について

海外協定校との単位互換について、学部レベルでの単位互換のシステムは確立しているものの、静岡大学同様に現地語の修得等で留学を終えるケースが多く、専門科目等の単位互換までは及ばないのが現状だった。

大学	単位互換の可否	単位互換の上限	単位互換方法
静岡大学	可	60単位を超えない	成績証明と受講した科目のシラバスを教員が審議
インドネシア大学	可	72単位まで	〃
インドネシア教育大学	可	18単位まで	〃

ただし、現在インドネシア全体が単位互換や、特にダブルディグリーに積極的になっており、例えばシラバスやスケジュールを英文で作成するなど、外国との国際交流に積極的な姿がうかがえた。

国際化に対しても教員の数および質の向上が今後の課題となっているが、教員の海外派遣奨学制度等により今後の改善が見込まれる。

学生支援の比較

インドネシア教育大学 UPI Universitas Pendidikan Indonesia

奨学金制度の特徴

合計37,000人ほどの学生のうち、3,000人ほどが奨学金を受給している。
 奨学金の種類は学校独自のもので成績検証を要するものから日本の企業・海外支援団体等による奨学金など。

宿舎について

学生寮は男性用・女性用にわかれ5キャンパスに6施設ある。
 その他学校内に半民営のホテルがあり、
 学外のお客様にも対応できるよう設備が整っていた。

学生指導について

学生指導については、指導教員による指導のほか、
 学生相談室を設け、各種相談に対応している。

国際交流

留学生の査証申請等については国際課が一括して行っている。
 実際に授業を担当する課はLanguage Centerだが、
 国際課の教員が担当していることが多い。
 また、留学生には学生チューターが付き、生活や履修相談等が可能。

就職について

卒業してから就職活動することが多く、卒業後
 50%ほどの学生が直に就職していると予想される。

その他学生生活について

昼休みが1時間半あり（お祈りできるよう長くなっている）、学外に出て食事を取る学生も多い。

当然のように学内にモスクがある。

障害を持つ学生にも学生チューターを付けているが、
 手すりや階段等のインフラ整備が今後の課題となっている。

学校入り口にあるモスクの概観



学校内でもインフラ整備が進む
 現在ミュージアム建設中



本部棟前で固まる学生集団
 女子学生のほとんどは
 スカーフを巻いている。

静岡大学との比較

山間に設立されたキャンパスで静岡大学と立地は似ている。
 学内にある自動車数も多く、教職員の移動については専ら車移動の様子が窺えた。
 相違点として、学内の工事が多く（耐震ではなく新設）、増加の一途を辿る入学者の
 箱物整備が進んでいる印象を受けた。
 その中で、イスラム教独自のモスクや、日本の国立大学では考えにくい学内ホテル
 などが点在し、インドネシア独自の形体をつくっていた。

インドネシア教育大学のあるバンドン市では、労働力を安価で得ることができるため、
 学内清掃スタッフやパート職員を多く見かけた。
 ※知り合った方に聞いた情報では「コピー機で印刷するより、スタッフに原稿を
 持たせ、コピーの度に印刷会社に行かせるほうが経費が安い」との事。

学生支援の比較

伝統的な瓦屋根の校舎が並ぶ



大学に到着する電車

学内にあるレストラン



静岡大学との比較

市内から離れたキャンパスという点で静岡大学と立地が似ている。アップダウンはないものの学内は広大で、静岡大学、インドネシア教育大学とは違う意味で教職員の移動は自動車移動が主になる。学生の移動は専ら自転車（学生証で利用できるレンタサイクル）が多く見られた。図書館に併設された映画館・Starbucks Coffeeや、昼間からかなり大きい音量でクラブミュージックが流れるレストランなど、学生の自由度が高い。

金銭的な支援（奨学金・授業料）について、日本のように画一的になっておらず、学費負担者の収入を見て援助額を算定し、また、成績の検証まで行う方式がインドネシア全体において一般的だった。

Wi-fiの設置も進み、またインドネシアでは個人契約の値段が高いことも加わって、学生の学校利用頻度が高かった。

インドネシア大学 UI Universitas Indonesia

奨学金制度の特徴

両親の収入によって受給できるものと学部の学生が単独で申し込めるものがある。支給額については入学料と同額または申請により授業料が払えない分を奨学金として支給されるものがある。奨学金を受給する場合、1年生後期および2年生後期に成績を検証され、内容次第では奨学金支給が停止となる。また、外部資金による奨学金も別にあり、学部対象で総額200億ルピア（2億円弱）で、年々増加している。

宿舎について

学生寮は市内に1棟、学内に1棟あるが、留学生についてはホームステイ等も勧めている。

学生相談について

学生相談員として、心理系2名、医学系2名、教員1名の専門家がいる。

1名のフルタイムと日替わりの専門家1名での2人体制で、平日の予約制を取っている。大学に関することから家族、恋人の問題等、相談は多岐にわたるが、分野ごとに担当がいるため広く相談に乗ることが可能。

国際交流

留学生1人に対し1人の学生チューターを付け、生活や履修相談等が可能。また、映画鑑賞等のインドネシアに慣れるためのイベントも企画している。

その他学生生活について

学部ごとに食堂がある。

財務関係

インドネシア大学

【財務状況】

- ・会計期間は1/1～12/31。
- ・2011年の収入額は186億円（18,600億ルピア）、支出額は133億円（13,300億ルピア）。
- ・収入の内訳は、国からの交付金32%、授業料等57%、寄付金・補助金8%、その他3%。
- ・2011年の収入額は前年度と比べて25%増加している。

【資金運用】

- ・資金運用の手段として外貨預金、定期預金、投資信託等を取り入れている。

【その他】

- ・財務諸表はインドネシア語表記と英語表記で作成しており、WEBで公開している。
- ・キャンパス内の敷地を利用して、来学者向けのホテルや寮、レストラン経営を行っている。

インドネシア教育大学

【財務状況】

- ・2012年度の収入額は前年度と比べて10%増加している。

【事務体系】

- ・財務本部には、予算、決算、出納、会計のセクションがある。
- ・会計システムを用い、会計処理を行っている。

【支払】

- ・旅費は基本的に実費支給だが、特定区間では定額制を採用している。

(例)バンドン-ジャカルタ間：530,000ルピア

【その他】

- ・キャンパス内の敷地を利用して、来学者向けのホテルや寮経営を行っている。



会計オフィス



会計担当者と財務管理棟内で

- ・大学の法人化に伴い、自己収入を増加させており、収益事業収入も本学より多い。
- ・本学では収入の40%が自己収入なのに対し、インドネシア大学では70%近くを占めている。
- ・これには受験者数や学生数の増加による学生納付金の増加が大きく影響していると考えられる。
- ・インドネシア教育大学の事務体系は、専門のセクションに分かれて会計事務を行っており、本学と似ている。

財務関係 《入学料・授業料》

1円=100ルピア

静岡大学	インドネシア大学	インドネシア教育大学
<p>【入学料】 282,000円</p> <p>【授業料】 267,900円</p> <p>【授業料納入方法】 口座引落、現金</p> <p>【料納入期日】 前期：4月末日 後期：10月末日</p> <p>【未納者への対応】 各学部の掲示板に未納者あてに納入の督促をする。 また、未納入者あてに督促すると共に、保証人あてに督促する。 督促してもなお3月末日までに納入しない場合には、除籍となる。</p>	<p>【入学料】 50,000～250,000円</p> <p>【授業料】 保護者の収入で決まる 文系：1,000～5,000円 理系：1,000～7,600円</p> <p>【授業料納入方法】 銀行振込、現金</p> <p>【料納入期日】 学期が始まる前の2週間</p> <p>【未納者への対応】 未納のまま学期が始まると“non active”という期間に突入する。 non active期間は3週間のみで、その間に授業料を納めなければその学期の授業を受けることができない。 また、non active期間には延滞金が発生する。</p> <p>【留学生】 入学料：150,000～1,000,000円 授業料：200,000～400,000円</p>	<p>【入学料】 20,000円程度 (学部によって異なる)</p> <p>【授業料】 保護者の収入で決まる (5,000円程度)</p> <p>【授業料納入方法】 クレジットカード、現金</p> <p>【料納入期日】 前期：6月末～8月末 後期：12月末～1月末</p> <p>【未納者への対応】 期間内に納めなければ、その学期は休学となる。 また、休学ができるのは4年間で2回。 未納者への対応は出納担当者から学部連絡し、学生部が対応する。</p> <p>【留学生】 授業料：100,000円程度</p>

- ・ 本学とは料金設定や徴収制度の考え方が大きく異なっていた。
- ・ 両訪問大学では、2012年までは定額制だった授業料が2013年から保護者の収入によって決定する制度となった。
- ・ 授業料は入学の際に決定し、基本的に卒業まで変更はなく、学生は学内サーバーより自身の授業料の額を確認することができる。
- ・ また、申請すれば分割で支払うことが可能である。
- ・ 履修前に授業料を納めなければ授業を受けることができないこともあってか、未納の学生は少ないとのこと。



国際交流基金の活動内容

- ①文化芸術交流
- ②海外における日本語の普及
- ③日本研究支援(知的交流)

上記の目的により、世界21カ国に海外拠点として22事務所を持つ。

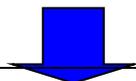
東南アジアではインドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシアに拠点がある。インドネシアにあるジャカルタ事務所は1971年に開設され、現在、スタッフは31名(日本人10名、インドネシア人21名)で、オフィスの公用語はインドネシア語である。

日本とインドネシアの関係

1974年に対日本への経済優先への反発から反日暴動が起きる。その反省に立ち、以降は経済のみならず文化・人的交流を中心にあらゆる分野で交流を深めてきた。また、インドネシアに対する日本のODAによるインフラ整備がインドネシアの発展に多大な貢献をしてきた。

【事業予算規模】

日本の対インドネシア事業予算規模は世界第4位の4.7億円(2011年度)



【日本語の普及】

インドネシアの日本語学習者は世界第2位の約87万人(2012年)おり、中国に次いで多い。

特に高校生が第2外国語として学ぶ割合は97%にも及ぶ。

日本とは経済的な結びつきが強いため、営利目的で日本語を学習する学生が多い傾向にあった。

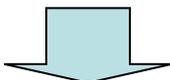
加えて近年では、サブカルチャーの影響から学習する学生も増加している。

国際交流基金ジャカルタ日本文化センター

課題

- 日本語学習者の急増による日本語教師不足。
- インドネシア文化を日本へ紹介する事業経費が事業仕分けにより削減された。
- 日本のポップカルチャー（マンガ・アニメ等）が人気であるが、最近では韓流ブームに押されている。

ここまで、ジャカルタ日本文化センター所長の小川 忠 氏に説明や質疑に対応していただきましたが、小川氏から大学において優秀なイスラム圏の留学生を獲得する方法をアドバイスしていただきました。



- ・ 学内にお祈りできる専用の施設を確保する。
- ・ FACEBOOKを大いに利用し、留学生の母国の後輩に対して広報してもらう。
- ・ 英語による講義を開講する。（特にマスターレベル）

小川氏に伺ったインドネシア人のイメージ

- ・ 基礎を学ぶようなコツコツと行う仕事は不向き。
- ・ よく質問をし、積極的にコミュニケーションをはかってくる。



また、国際交流基金の入っているビルの2階に独立行政法人日本学生支援機構のインドネシア事務所（ジャカルタ日本国際教育交流情報センター）があり、案内していただきました。日本への留学に関する資料が学校単位でファイリングされており、静岡大学もありました（「大学案内2012」や「平成23年度静岡大学概要」が・・・）。





国際交流基金ジャカルタ日本文化センター内にギャラリーがあり、小倉宗衛の世界「魂の品格」展を開催していました。
能面作家が来客の前で肅々と面を掘り、匠の技を披露していました。



研修所感

大学間協定を締結している2大学を研修・見学させていただき、少子化による大学全入時代が訪れ、大学改革の中で生き残りをかけて変化を求められている本学とはそもそも置かれる状況が異なりますが、この2大学からは強い勢いを感じました。

インドネシア教育大学にて副学部長に貴大学として一番重要視しているキーワードを尋ねたところ、即座に「教育」という力強い言葉が返ってきました。シンプルでありながら大学運営の原点を忘れないひとことが印象的でした。

インドネシア教育大学・インドネシア大学の教職員の方々にはご多用の中、本当に誠意を持って対応していただき、また、現地の大学生の通訳の方にも専門用語の翻訳は苦労したと思いますが、大変お世話になりました。研修時間は短く、報告書としてまとめてみると本当に内容が薄く、恥ずかしい限りですが、何とかカタチになり安堵しているところです。

この研修に御支援をいただいた本学教職員の皆様、受入れくださった機関の皆様、世界を知らない私をサポートし、無事に本国への帰還に導いてくれた同行者のふたりに感謝いたします。

(入試課入試企画係 谷内)

職員海外研修を終えて、今更ながらに海外大学および機関と仕事をする事の難しさを痛感することができました。

言葉の壁、文化の違い等、記述する分には簡単ですが、実際にそれらを目の当たりにして、例えばインドネシアの学生を受入れる際には礼拝の場所が必要であることや、イスラム教食事メニューの用意など、海外留学生の受入について(わずかではありますが)具体的な対応まで検討することが出来るようになったかと存じます。

現在の静岡大学において、留学生・外国人研究者の受入態勢はまだ充分ではありませんが、まずはどんなことに対して問題を抱えているのか、留学生・研究者のニーズに耳を傾けることから始めていきたいと考えております。

末筆ではございますが、今回の研修でお世話になった全ての皆様方に改めて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

(人文社会科学部学務係 黒田)

現地に着いてみると文化や考え方の違いに驚くことばかりでしたが、大学職員の方々や通訳のヌルルさんは細かいところまで気を使ってくださり、とても丁寧に対応してくださいました。おかげで、短い期間でしたが、充実した研修を終えることができました。

インドネシア教育大学、インドネシア大学ともに近代的で、整備の進んでいるキャンパスが大変印象的でした。また、学生数や受験者数が増加しているといったお話から、キャンパス内に新たに建設されている施設から、行き交う学生から、大学の“勢い”を感じ取ることができました。

今回、限られた担当者の方としかお話ができず、時間の制限もあり準備していた質問事項の全てを伺えたわけではありませんでした。直接お話をし、体感できたことは私にとって刺激的で、大学職員や大学の現状について深く考える良い機会にもなりました。加えて、語学力はもちろん、コミュニケーションスキルの必要性を痛感しました。

このような機会をいただけたことに大変感謝しています。ありがとうございました。

(財務課出納係 勝山)

END

